

岡山スポーツ産業創出ビジョン2026-2030

発表会

2026年3月18日



おかやまスポーツ 未来開拓会議



本日の発表の目的

- 岡山スポーツ産業創出ビジョンの提示
- 7つの戦略骨子の共有
- 2026年度以降の推進方向の提示

なぜ今、スポーツ産業なのか

- 人口減少と地域経済縮小
- 若者流出
- 健康寿命課題
- 公共施設維持負担の増加
- 健康・教育・産業を横断する可能性

- 世界では**スポーツは巨大産業**
 - スポーツ産業
 - 約70兆円規模（世界）

背景：「今やらなければ岡山は取り残される」

- 全国ではアリーナ建設ラッシュ、スポーツツーリズム市場の拡大、部活動の地域展開、DXによるスポーツ産業の高度化が急速に進行しています。
- 一方地方都市では、これらの施策を別々に進めた結果、都市戦略として統合されないまま“バラバラ改革”に終わる例も増えています。

全国のスタジアム・アリーナの施設・建替構想 (2025年1月時点)

全国でスタジアム34件、アリーナ45件の計画が進行している。

※記載例

完成または開業予定年 (西暦)

主たる想定スポーツコンテンツ
 N : プロ野球 (NPB)
 J : サッカー (Jリーグ)
 B : バスケットボール (Bリーグ)
 V : バレーボール (SVリーグ)
 R : ラグビー (リーグワン)
 H : ハンドボール (リーグH)

構想・計画/設計・建設の別

都道府県 アリーナ/スタジアム 事業名 27 B

アリーナ●件、スタジアム▲件 計●件

<北海道>

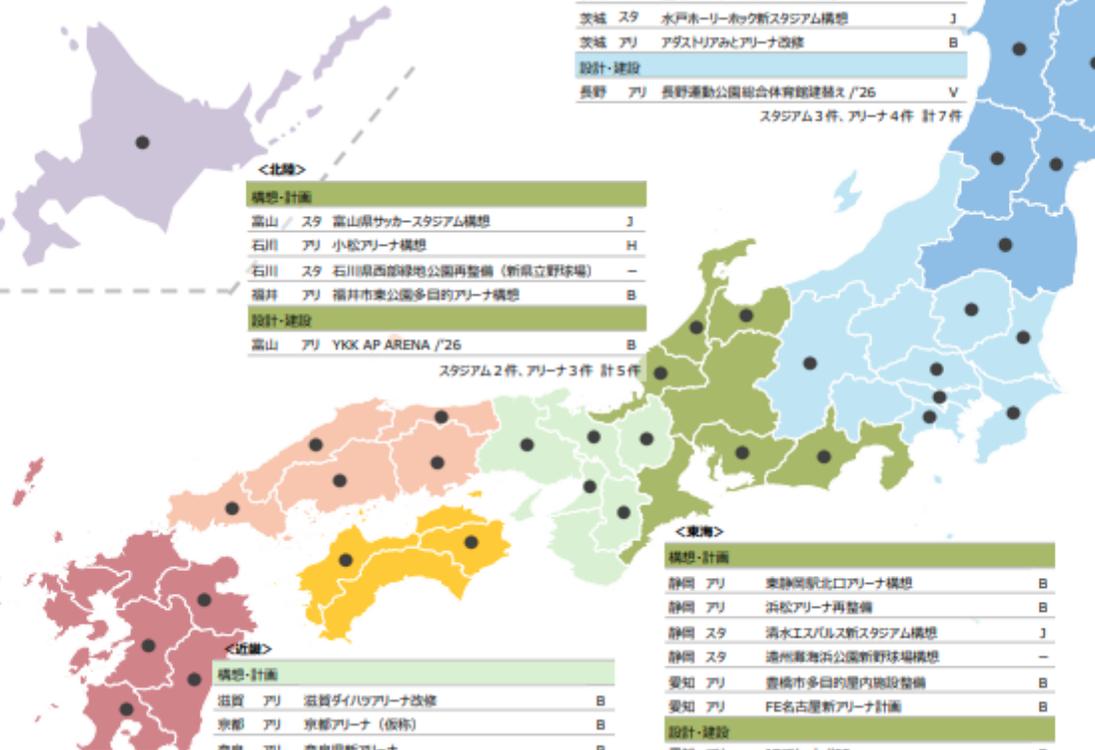
構想・計画		
北海道	アリ	北海道アイスホッケー場改修 B
北海道	アリ	札幌ドーム周辺スポーツ交流拠点構想 B
北海道	アリ	旭川スポーツパークアリーナプロジェクト構想 V
スタジアム0件、アリーナ3件 計3件		

<中国>

構想・計画		
岡山	アリ	岡山市新アリーナ構想 B
岡山	アリ	岡山県総合アリーナ構想 V
広島	アリ	広島ドッグフライズ新アリーナ B
広島	スタ	ふくやまスポーツパーク構想 -
山口	スタ	レノファ山口サッカー専用スタジアム構想 J
設計・建設		
島根	アリ	松江市総合体育館改修 /26 B
鳥取	アリ	米子アリーナ /27 -
スタジアム2件、アリーナ4件 計6件		

<九州・沖縄>

構想・計画		
大分	スタ	大分トニータサッカー専用スタジアム構想 J
熊本	アリ	熊本ヴォルターズ新アリーナ構想 B
鹿児島	アリ	鹿児島スポーツ・コンベンションセンター整備 B
鹿児島	スタ	鹿児島市サッカースタジアム構想 J
沖縄	スタ	沖縄県J1規格スタジアム構想 J
設計・建設		
宮崎	アリ	アスリートタウン福岡アリーナ /25 -
宮崎	スタ	山之口陸上競技場整備 /25 J
スタジアム4件、アリーナ3件 計7件		



<北関東・甲信越>

構想・計画		
長野	アリ	ホワイトリング改修 B
長野	スタ	松本山鶴新スタジアム構想 J
栃木	アリ	宇都宮ブルックス新アリーナ構想 B
茨城	スタ	鹿島アントラーズ新スタジアム構想 J
茨城	スタ	水戸ホーリーホック新スタジアム構想 J
茨城	アリ	アグスタリアみとアリーナ改修 B
設計・建設		
長野	アリ	長野運動公園総合体育館建替 /26 V
スタジアム3件、アリーナ4件 計7件		

<北陸>

構想・計画		
富山	スタ	富山県サッカースタジアム構想 J
石川	アリ	小松アリーナ構想 H
石川	スタ	石川県西部緑地公園再整備 (新県立野球場) -
福井	アリ	福井市東公園多目的アリーナ構想 B
設計・建設		
富山	アリ	YKK AP ARENA /26 B
スタジアム2件、アリーナ3件 計5件		

<東海>

構想・計画		
静岡	アリ	東静岡駅北口アリーナ構想 B
静岡	アリ	浜松アリーナ再整備 B
静岡	スタ	清水エスパス新スタジアム構想 J
静岡	スタ	遠州灘海浜公園新野球場構想 -
愛知	アリ	豊橋市多目的屋内施設整備 B
愛知	アリ	FE名古屋新アリーナ計画 B
設計・建設		
愛知	アリ	豊田スタジアム改修 /25 -

<東北>

構想・計画		
岩手	スタ	いわびんスタジアム改修 J
秋田	アリ	秋田県新県立体育館 (仮称) B
秋田	スタ	ブラウブロッツ秋田新スタジアム構想 J
宮城	スタ	ベガルタ仙台スタジアムパーク構想 J
福島	スタ	いわきFC新スタジアム J
設計・建設		
宮城	アリ	ゼビオアリーナ仙台改修 /25 B
山形	スタ	モンテディオ山形新スタジアム /28 J
福島	アリ	宮城県 郡山総合体育館改修 /25 B
スタジアム5件、アリーナ3件 計8件		

<南関東>

構想・計画		
埼玉	アリ	さいたま市次世代型スポーツ施設 B
埼玉	アリ	越谷新アリーナ構想 B
埼玉	スタ	大宮スパー・ホールパーク構想 J
千葉	スタ	千葉マリンスタジアム再整備構想 N
千葉	アリ	千葉ポートアリーナ改修 B
東京	スタ	リーグ東京23区スタジアム構想 J
東京	スタ	南葛SC新スタジアム構想 J
東京	スタ	福地市場跡地多機能型スタジアム構想 -
東京	アリ	大井競馬場大規模アリーナ構想 -
神奈川	スタ	SC相模原新スタジアム構想 J
神奈川	スタ	湘南ベルマーレ新スタジアム構想 J
神奈川	スタ	三ツ沢公園陸上競技場再整備 J
神奈川	アリ	横浜国際プール再整備 -
神奈川	アリ	本厚木駅周辺多目的アリーナ構想 -
設計・建設		
東京	スタ	神宮BALL PARK /31 N
東京	スタ	新秩父宮ラグビー場 /27 R
東京	アリ	TOYOTA ARENA TOKYO /25 B
東京	スタ	TOKYO GIANTS TOWN (巨人2軍新球場) /25 N

スポーツ未来開拓会議 ～今後のスポーツの成長産業化を見据えた、当面の取組等についてのとりまとめ～（概要）

今後のスポーツ成長産業化に向けた考え方

現行目標と進捗

スポーツ市場規模 2025年までに15兆円

- 2015年以降2019年まで、**スポーツ市場規模は名目GDP成長率を大きく上回り成長**。
- コロナ禍で市場規模は落ち込むが、**2021年にはほぼコロナ禍前の水準まで回復**。
- **主なプロスポーツの来場者数も過去最高を更新するなど、再び成長傾向**。
- 一方、コロナ禍の影響は大きく、2025年15兆円の目標達成の不確実性は高い。

スポーツ産業の更なる成長に向けた課題

- 相対的に拡大傾向にある「**みる**」スポーツのみならず、「**する**」スポーツや**スポーツツーリズム**も推進。
- 「する」「みる」「ささえる」等の活動を**一体的に捉えた取組**
- **着実なスポーツの普及**と、**多様な需要・ニーズへの対応等による付加価値向上**

今後の取組の方向性

(1)特に成長を期待する分野への施策

①まちづくりと一体となったスタジアム・アリーナの整備・活用（スポーツコンプレックス）やスポーツ振興

- ✓ハード・ソフト・インフラ面での支援の充実
- ✓関係者・関係府省庁との一層の連携 等

②スポーツと他産業との連携の促進

- ✓パートナー企業との共創の推進
- ✓SOIP(Sports Open Innovation Platform)の活用・改善による新規事業創出

③スポーツDXやeスポーツの推進

- ✓ビジネス多角化・収益拡大等に向けたDX推進 等

④スポーツエンタメ・コンテンツの海外展開の推進

- ✓海外向けローカライズ・プロモーション等の推進

⑤スポーツコンテンツ等の高付加価値化・スポーツツーリズムの拡大

- ✓スポーツホスピタリティの推進、スポーツ観戦を活かしたスポーツツーリズム、国際スポーツ大会の活用等
- ✓JNTO・関係省庁との連携
- ✓訪日旅行者のニーズ分析等による企画立案、地方への誘客・高付加価値化に資するコンテンツ創出等

⑥スポーツを通じた健康増進・共生社会の実現等

- ✓デジタルデバイス等の活用による個人の運動促進
- ✓従来の概念にとらわれない多様な身体活動の促進
- ✓目的を持った運動・スポーツの普及に向けたエビデンス構築等
- ✓eスポーツの活用、パラスポーツ等の活性化 等

(3)各施策・取組の基盤をつくる活動の拡大等

- ①スポーツの意義・価値の整理・発信等による、民間資金・人材の流入促進
 - ✓スポーツ界への人材流入を図る企業・団体や外部人材の活用を図るスポーツ団体等との連携・情報発信 等

- ②海外展開を目指す日本のスポーツ関連企業や団体向けの情報発信・ネットワーク構築支援
 - ✓JSPIN等を通じたネットワーク強化、ターゲットを定めた戦略的な国際展開 等

▶ 第4次スポーツ基本計画に向けて**更なる成長産業化に向けた中長期的な目標等について幅広い検討、更なる施策の具体化・充実、関係者による取組強化等**を期待

政府の中長期的展望の名目GDP成長率等を一定程度上回る成長により、遅くとも2030年までにスポーツ市場規模15兆円を達成し、**更なる高みを目指す**。



スポーツ産業の成長の意義、それが果たす役割に対する期待

- 単なる経済効果の拡大にとどまらない様々な意義
- **スポーツの自立的な環境整備 地方創生・社会課題解決への貢献 等**
- **多面的かつ中長期的な視点から成長産業化に向けた取組を継続・強化**

(2)着実にスポーツの実施を促すための施策

①部活動の地域展開等の推進に向けた地域のスポーツ実施環境の整備

- ✓2026年度以降の部活動改革の方向性・支援策等の検討
- ✓個別の課題対応等の議論も踏まえた改革の推進

②スポーツを活用したまちづくりの拡大

- ✓全国各地のスポーツを活用したまちづくりの普及促進
- ✓スポーツを通じた健康増進や運動・スポーツの習慣化の取組促進
- ✓大学のスポーツ資源を活用した地方創生に向けた取組の推進
- ✓スポーツコンプレックスの考え方によるスポーツ環境整備
- ✓地域スポーツコミッションの質的な向上 等

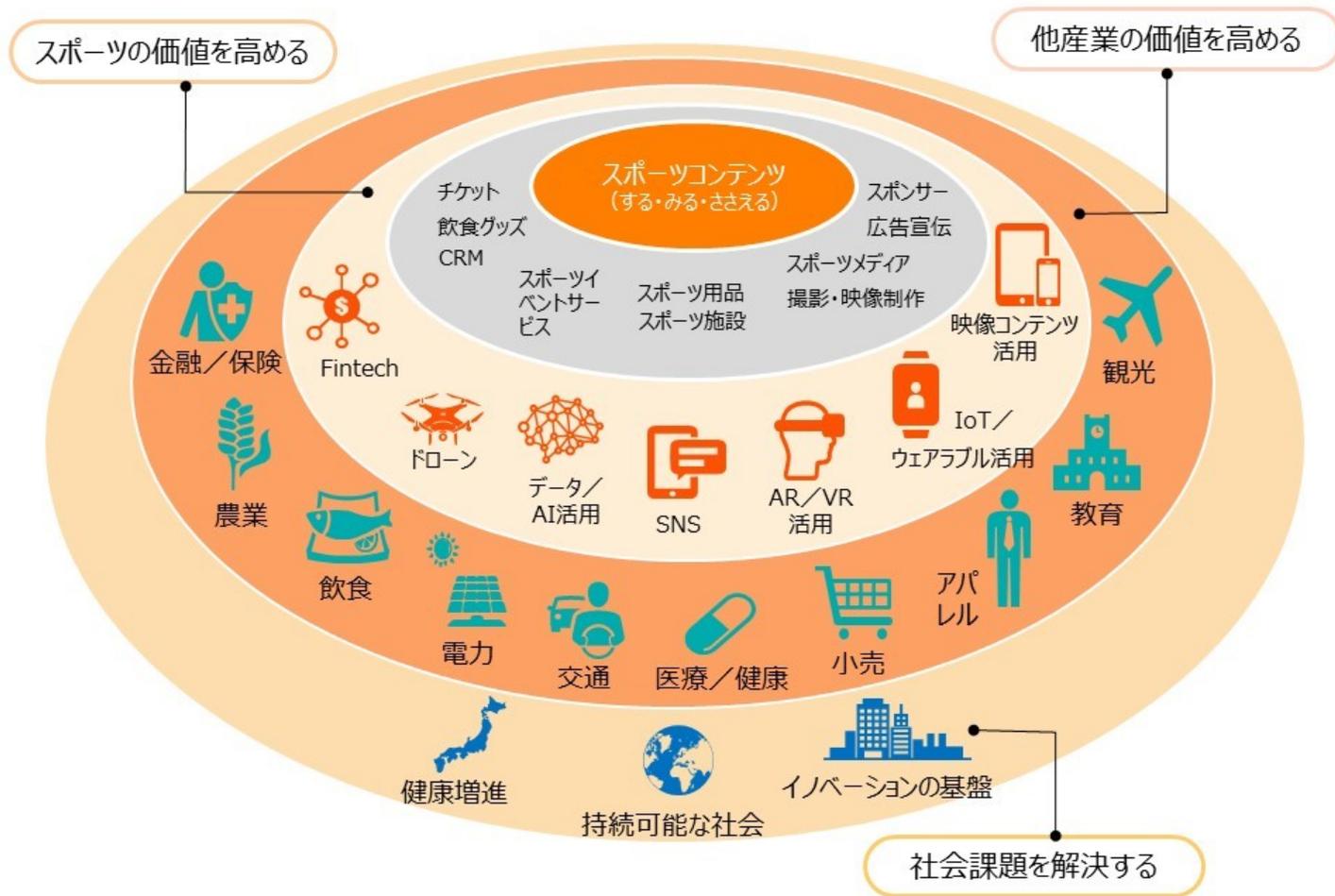
岡山では今、以下の7つの追い風が同時に起きています。

- アリーナ・スタジアム整備の機運の高まり
- ファジアーノ岡山のJ1定着に向けた地域支援
- 4つのトップスポーツチームの存在
- ハレまち通りを中心としたウォークブルシティ形成
- サイクルツーリズム・アドベンチャーツーリズムの急拡大
- 部活動の地域展開が本格化
- 起業促進・DX推進の流れ

スポーツツーリズム市場分析予測



スポーツと他分野の融合によりスポーツ市場拡大を推進





第3期スポーツ基本計画（概要）

【第2期計画期間中の総括】

- ① **新型コロナウイルス感染症：**
 - ▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限
- ② **東京オリンピック・パラリンピック競技大会：**
 - ▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催
- ③ **その他社会状況の変化：**
 - ▶ 人口減少・高齢化の進行
 - ▶ 地域間格差の広がり
 - ▶ DXなど急速な技術革新
 - ▶ ライフスタイルの変化
 - ▶ 持続可能な社会や共生社会への移行

こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『**スポーツそのものが有する価値**』（Well-being）
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『**スポーツが社会活性化等に寄与する価値**』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策



持続可能な国際競技力の向上

- 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため、
 - ・NFの強化戦略プランの実効化を支援
 - ・アスリート育成パスウェイを構築
 - ・スポーツ医・科学、情報等による支援を充実
 - ・地域の競技力向上を支える体制を構築



共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進

- 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進
- オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動等を推進



スポーツを通じた国際交流・協力

- 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献（ドーピング防止活動に係る人材・ネットワークの活用等）



大規模大会の運営ノウハウの継承

- 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の下で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組も含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用



地方創生・まちづくり

- 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって継続・定着
- 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進



スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保

- 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を脅かす事態に対応するため、
 - ・誹謗中傷や性的ハラスメントの防止
 - ・熱中症対策の徹底など安全・安心の確保
 - ・暴力根絶に向けた相談窓口の一層の周知・活用

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

スポーツを「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。

- ◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成
- ◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進

スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。

- ◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現
- ◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化
- ◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信

スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。

- ◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供
- ◆ 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化
- ◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

① 多様な主体におけるスポーツの機会創出

地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動施設活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上 等

④ スポーツの国際交流・協力

国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討 等

⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり

武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化 等

⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用の促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援 等

② スポーツ界におけるDXの推進

先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等

⑤ スポーツによる健康増進

健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化 等

⑧ スポーツを通じた共生社会の実現

障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等

⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保

暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進 等

③ 国際競技力の向上

中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSPO・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催 等

⑥ スポーツの成長産業化

スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援 等

⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援 等

⑫ スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解促進等の推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開 等

『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人々が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

📍 国民のスポーツ実施率を向上

- ✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を **70%** (障害者は **40%**)
- ✓ **1年に一度以上スポーツを実施**する成人の割合を **100%に近づける** (障害者は **70%を目指す**)

📍 生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加

(児童86%⇒**90%**、生徒82%⇒**90%**)

📍 子供の体力の向上

(新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒**80%**、生徒75%⇒**85%**)

📍 誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現

- ✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発
- ✓ **スポーツ団体の女性理事の割合を40%**

📍 オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現

📍 スポーツを通じて活力ある社会を実現

- ✓ **スポーツ市場規模15兆円**の達成 (2025年まで)
- ✓ **スポーツ・健康まちづくり**に取り組む地方公共団体の割合15.6%⇒**40%**

📍 スポーツを通じて世界とつながる

- ✓ **ポストSFT事業**を通じて世界中の国々の**700万人**の人々への裨益を目標に事業を推進
- ✓ **国際競技連盟(IF)**等役員数**37人規模**の維持・拡大

令和4年度 令和8年度(2022-2026)

第2期 岡山市スポーツ推進計画

Okayama City
Sports Promotion Plan
- The 2nd phase - 2022 - 2026



令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間。

第2次岡山県スポーツ推進計画 2025年改訂版



令和7(2025)年3月
岡山県

令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間。

なぜ岡山なのか

- 晴れの国の気候条件
- 瀬戸内海～山間部の自然
- 医療・教育資源の集積
- 交通結節点
- アーバンスポーツ実績

スポーツ産業が成立する条件が揃っている

- これらを“点”ではなく“面”として統合し、都市としての競争力を再構築するとともに、スポーツを永続・発展性のあるビジネスとしての視点からも議論する必要があります。
- そこで KOIA は、行政・大学・スポーツ団体・観光・企業・金融機関が一体となり、来春の発表に向けた総合戦略を議論します。

■ポイント

1. 岡山での「スポーツ×都市づくり」統合会議
2. アリーナ・スタジアム構想を軸にした都市戦略に直結
3. 部活動地域移行・DX・観光まで“全方位”を1つの会議で扱う
4. 来春には記者発表（来年度の岡山の都市政策を左右する内容に）
5. 民産官学金言が揃うプロジェクト

会議目的共有

「国の方向性 × 岡山の強み」
で
“岡山版”を作る会議である。

スポーツを軸にした岡山の未来創造・
都市価値向上の戦略立案

顧問・委員

顧問：梶谷俊介 岡山トヨタ自動車（株） 代表取締役社長

座長：林 恒宏 岡山理科大学経営学部教授

副座長：安原賢一 （一社） 渋川マリンアクティビティ協会 代表理事

委員

- 中島基善 （一社） 吉備オープンイノベーション協会 代表理事会長
- 井上 伸一 （一社） 吉備オープンイノベーション協会 専務理事
- 嘉数 篤志 岡山トヨタ自動車（株） リーダー
- 岡崎 圭佑 経済産業省 中国経済産業局 産業部 産業振興課 流通・サービス産業室スポーツ関連産業係長
- 小寺 幸治 （株） 山陽新聞社 社長室 室長
- 林 孝康 （一社） 瀬戸内市観光協会 事務局長
- 今井 明 岡山大学 産学官連携本部長 主任リサーチ・アドミニストレーター（URA）
- 神田 恭行 リコージャパン（株） リーダー／（一社） 岡山県山岳・スポーツクライミング連盟 理事
- 寺坂 幸治 （一社） 吉備オープンイノベーション協会 監事／岡山シーガルズ アドバイザー
- 高本 和英 （一財） 岡山経済研究所 主任研究員
- 保崎 真寛 中銀リース（株） 経営企画部 担当部長
- 西脇 和治 （一財） 岡山県サッカー協会 専務理事
- 森清 将史 （一社） 瀬戸内ブルーシャインズ 代表



社名: スタジアム・アリーナ (新年度)

議題: 経営戦略の検討

参加者: 経営陣、役員、部長

日時: 2024年10月15日 (火)

場所: 本社 会議室A

会議スケジュール

第1回：理解と棚卸し（12月10日）

第2回：テーマ別深掘り（1月14日）

第3回：おokayama版アクション案（2030）の統合（2月4日）

ビジョン発表（3月18日）

会場はNXビル

第1回の内容

- 国の方向性を理解し、
 岡山の強み・資源を可視化する

第2回の内容

- 前回の復習（国の動き、本会議の目的など）
- 宿題の整理・発表（共有）
- 本日時点の骨子の確認、ご意見
- 国のアクション（事業）についての紹介
- 今後の展開（記者発表、次年度展開・事業）に対するブレスト
- 次回までの宿題の確認（骨子、事業に対するご意見、今後の展開）

第3回・記者発表の流れ

- ご報告いただいた内容を第1回のグルーピングに加え、再度グルーピングを行い、大きな骨子（7本）にまとめます。
- **第3回会議**では、大きな骨子（7本）について、皆様方にご意見をいただき、『おokayamaスポーツ未来開拓会議』のビジョンを策定します。
- 3月の発表では『おokayamaスポーツ未来開拓ビジョン2030（仮）』とアクションリストを公表します。

岡山の強みを活かすスポーツ未来事業①	理由、根拠など	具体例
スタジアム・アリーナ×防災スポーツ拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設としての役割拡張 ・ 防災とスポーツは自治体予算とも相性が良い ・ 実践型防災の重要性 ・ 教育・企業研修市場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常時：防災×体力向上プログラム（担架リレー、避難シミュレーション） ・ 避難行動×運動 ・ 災害時：避難所・支援拠点として即時転用 ・ 学校・企業・地域団体向け防災スポーツ研修
岡山県でのスポーツ大会開催	<p>中四国の交通の中心となっていて人が集まりやすい また新幹線も通っているため交通の便が良い</p>	選手権やインターハイ
スポーツの共通チケット（広域版）	<p>岡山に複数のスポーツチームがあり、近隣チームとも連携することでアウェイゲームの観戦への動機付け、相互送客につながる。</p>	シーガルス&ヴィクトリーナ姫路、ファジアーノ&サンフレッチェ広島、トライフープ&香川ファイブアローズ、ベル・シャルム&広島レジーナ、瀬戸内ブルーシャインズ&??など

岡山スポーツ産業創出ビジョン

**スポーツを育て
地域で循環させ
価値を創造する
そして**

人材・産業・地域の未来を支える岡山へ

7つの戦略骨子

- ① 地域資源×スポーツ体験
- ② スポーツイベント交流経済
- ③ スポーツチーム地域インフラ化
- ④ スタジアム・アリーナ産業拠点
- ⑤ ヘルスケア・スポーツ高度化
- ⑥ アーバンスポーツ
- ⑦ スポーツビジネスインキュベーション

① 地域資源 × スポーツ体験価値創造

岡山の自然を競技場に

- アドベンチャーツーリズム
- サイクルツーリズム
- オリエンテーリング
- 海・山スポーツ

② スポーツイベント・交流経済

人を呼び込む

- 大会誘致
- 合宿誘致
- スポーツツーリズム
- スポーツタウン
- 共通チケット

③ スポーツチーム地域インフラ化

チームを

地域のインフラへ

- プロチーム
- 社会人チーム
- 学生スポーツ
- 地域CSR
- 人材育成連携
- アスリートデータバンク構想

④ スタジアム・アリーナ産業拠点

- 施設は
産業拠点
- スポーツ
- エンタメ
- 健康
- PPP/PFI活用
- DX・データ活用
- 多機能複合施設
- MICE

⑤ ヘルスケア・スポーツ高度化拠点

岡山の医療資源

×スポーツ

- スポーツ医療
- リハビリ拠点
- 健康産業
- 高齢者スポーツ

⑥アーバンスポーツ

新しいスポーツ文化

- BMX
- スケートボード
- クライミング
- ARスポーツ

都市空間を競技場に

⑦ スポーツビジネスインキュベーション

実行組織（スポーツビジネスインキュベーション等）の立ち上げ

- 企業投資促進
- SROI評価
- 横断連携組織

企業・自治体・大学・スポーツ団体などで産業を創出する組織

5年間ロードマップ

- 2026：実証開始
- 2027：制度化
- 2028：産業化拡大
- 2029：広域展開
- 2030：岡山モデル確立

今後の展開

- スポーツビジネスインキュベーションの創設
- アクションプラン（事業計画）の策定など

目指す未来

スポーツが
人を育て
地域を動かし
産業を生む

スポーツ先進都市 岡山

まとめ

- スポーツを育て、循環させ、価値を創造し、未来を支える岡山へ